

2021 7月 十三公民館だより

発行 十三公民館 TEL・FAX 91-1755

ぼく・わたしたちは幼年消防団

火あそびは絶対にしません。



6月10日木曜日、みどり保育園自衛消防訓練が行われ、全園児と全職員が参加して給食室から出火したとの想定で避難場所の園庭へ避難しました。講評では落ち着いて上手に避難できたと褒められ園児たちは喜んでいました。敬礼は仲間になったしるしと教えられ、消防のお兄さんに真剣に敬礼していました。

その後、年長の保育園児が幼年消防団の入団式を行いました。本年4月1日から氷見市は消防体制の充実・強化を図るため、高岡市と消防広域化を図りました。式では、幼年消防団員のワッペンが授けられ、これまでは幼年消防クラブ員でしたが、幼年消防団員として正式に任命されました。

火あそびをすると大きな火事になり、家などが燃えてなくなることなどを聞き、火あそびはしないことを誓いました。最後に幼年消防団員に任命された年長の保育園児たちが消火訓練を行いました。



高岡市と消防広域化スタート

消防体制の充実を図るため、4月1日から、高岡市と消防広域化を行いました。これにより氷見市消防本部は高岡市消防本部氷見消防署と名称変更しました。

消防広域化で期待されている効果としては、市域を超えた出動が可能となり、災害発生時の出動消防隊数が増加し、素早く効果的な消防活動が可能となるほか、医療機関、警察機関、自衛隊など関係機関との連携について、窓口が一本化されるため、活動状況、被害状況などの情報の共有をより迅速に行うことが可能となります。



R160号とR415号を結ぶ国道沿いにある柳田出張所

また、このことに併せて4月1日からは柳田地内に氷見消防署柳田出張所が設置されました。氷見市の人口の37パーセントの区域と高岡市の市境で現場到着の短縮が可能となります。事務室、研修室、訓練施設を備え、消防ポンプ車、救急車、連絡車を配備し、ドクターヘリが発着できるポイントが設けられています。

事務管轄区域は窪、柳田、園、島尾、宮田、上泉、下田子、上田子及び小竹地区となっています。

氷見市消防の沿革

- 1948年10月（昭和23年）氷見町消防本部・氷見町消防署設置
- 1952年 4月（昭和27年）市政施行に伴い、氷見市消防本部・氷見消防署に改称
- 1962年 8月（昭和37年）消防庁舎が完成し移転
- 1966年 5月（昭和41年）救急業務を開始
- 1972年 3月（昭和47年）屈折はしご付消防自動車を配備
- 1974年12月（昭和49年）化学消防自動車を配備
- 1979年11月（昭和54年）救助工作車を配備
- 1984年 4月（昭和59年）消防本部に課制を導入
- 1990年12月（平成 2年）現在地に消防庁舎が竣工し移転 氷見市加納387番地1
- 1994年 1月（平成 6年）高規格救急自動車を配備
- 1996年11月（平成 8年）30メートル級はしご付消防自動車を配備
- 2021年 3月（令和 3年）氷見消防署柳田出張所が竣工 氷見市柳田1308番地1
- 2021年 4月（令和 3年）高岡市に消防事務の委託を開始し、高岡市消防本部氷見消防署に改称

7月の講座案内

講座名	曜日	実施日	時間	講師名
詩吟	月	5日・12日・19日・26日	10時30分～	平井静子先生
手芸	火	6日・13日・20日	13時00分～	
三味線	木	8日・22日	19時30分～	山下茂昭先生
茶道（保育園）	火	27日	10時00分～	